

広報 南丹

こうほう なんたん

Nantan City Public Relations Magazine



特集① サイクルツーリズム

Eバイク観光 in 園部町

表紙：表紙モデルに応募いただいた護くんとみおりちゃんです。園部公園で兄妹楽しく遊ぶ様子を撮影しました。



市公式Facebook
市内での出来事や
市に関する情報を
紹介します



市公式LINE
イベント情報や防
災・気象情報をお
届けします



市公式Instagram
人や風景写真など
を通して魅力を発
信します



NANTANGRAM

サイクルツーリズム

Eバイク観光 in 園部町



らくらくEバイク

Eバイクで

E旅しよう



サイクルツーリズム

サイクルツーリズムを一言でいうと「自転車を活用した観光」です。

近年では、持続可能で環境にやさしい観光を促進するためのツールとして注目を浴びています。また、環境負荷の観点もさることながら、自身の健康や地方の魅力をよりリアルに体感できることも人気の理由の一つです。

Eバイクって？

Eバイクとは、Electric bicycleの略で主に電動アシストがついたスポーツタイプの自転車のことを指します。

電気によるアシストで坂道や体カに不安のある方も楽に走行することが可能です。

Eバイク観光の魅力

車や電車による移動の場合、ちよつと魅かれるお店があったり裏路地があつても簡単に入ることはできません。「駐車場はあるかな?」「良き景色あつたけど、今度でいいか」こういうことはよくあるはず。対して、徒歩はゆつたり楽しめる一方で疲れもたまりません。自転車は車と歩きのちょうど中間のスピードで、立ち寄りたときに立ち寄ることができ、細い裏路地でも入っていくことができます。しかし、長距離乗ると普段、運動をしていない人は疲れを感じることがあります。そこで、Eバイクの定番です。漕ぎ初めにアシストが効くので思い切り踏み込む必要はありませんし、長距離乗っても山道を走つても疲れを感じることがありません。さらに、普通の自転車よりもスピードが出るので素早く移動することもできます。最も合理的かつゆつたりと地域の魅力を堪能できる手段がEバイクなのです。



漕いで巡る観光地



Eバイクは駐輪場で

レンタルできます

園部文化観光協会とJ R園部駅西口の自転車等駐輪場を管理する株式会社駐輪サービスの連携で、J R園部駅西口広場自転車等駐輪場で2021年6月1日から園部レンタサイクルがオープンしました。

自転車は街乗り電動自転車・電動マウンテンバイクの2種類があり、通勤・通学や、観光などそれぞれの用途に合わせたEバイクが選択できます。ぜひご利用ください。

利用料

貸出から6時間まで500円
貸出から12時間まで1,000円
貸出から24時間まで1,500円

ご予約も可能です

園部駅西口広場自転車等駐輪場
園部町小山東町溝辺6番地19外
TEL: 0771-68-1234



悩んだら、ここに行ってみて！

るり溪

園部町大河内にあるるり溪は、国指定の名勝をになっています。近年では温泉、グランピング施設などが整備され、美しい自然を感じることができる観光地として人気です。

Eバイクで自然を感じた後、温泉やBBQも楽しめるおすすめスポットです。



体験してみました

9月24日、秘書広報課のメンバーでサイクルツーリズムを体験しました。

園部駅西口広場自転車等駐車場でEバイクをレンタルし園部駅を出発。るり溪を目指しペダルを漕ぎ始めました。片道約15kmの道に当初は不安を隠せない様子でしたが、漕ぎ始めた瞬間にEバイクの力強さに驚きました。一番心配していたるり溪の激坂でしたが、立ち漕ぎすら必要なく目的地へ到着しました。るり溪の自然を堪能した後、園部駅へ帰りましたが、自然を堪能した満足感と程よい疲労で最高のサイクルツーリズムとなりました。

今回のサイクルツーリズム体験の様子を公式YouTubeで公開しています。

ぜひご覧ください。



よしださん

園部駅～るり溪を走破。約30kmの道のりをEバイクで走った感想は、「電動アシストがあるので、全くしんどくないし、景色を観ながら秋のサイクリングを満喫できました。家族でやってみても楽しめると思いました。」



やまうちさん

園部駅から九品寺、普濟寺を巡る20kmを走破。また、園部駅～るり溪を走破。「自然の風を感じる爽やかなサイクリングでした。Eバイクなら気軽に走れて運動不足も解消し体もリフレッシュ。とても楽しい時間を過ごせました。」



どこに行けばいいの？という方はぜひツアーにご参加を！

京都府や園部観光協会では、Eバイクツアーの企画が行われています。初心者だからどこに行けばいいかわからないという方はツアーへの参加もご検討ください。

「紅葉の隠れた名所「龍穩寺」と有機手打ちそばを味わう！」

紅葉の名所「龍穩寺」を訪ね、昼食には有機手打ちそばに舌つづみ。摩氣神社では歴史ガイドによる紙芝居を楽しみます。

日時・11月19日(土)

参加費・2,500円

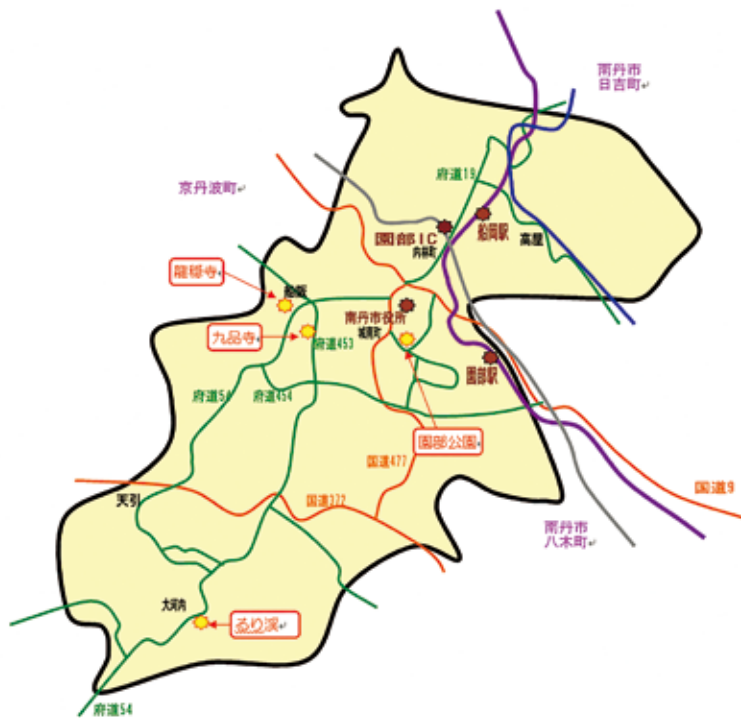
申込・園部文化観光協会

TEL・077116210050



観

自転車で巡るといえばやはり「観光」ははずせません。今はやりのサイクルツーリズムを体験してみませんか？



食

南丹市の基幹産業は農業です。だからこそ南丹市の「食」は魅力的。ぜひ南丹市の食を堪能してください。



南丹市を巡ろう

園部町は京都市や大阪府からも車で1時間以内の都会からアクセスしやすい場所で、川遊びやグランピング、農業体験、アートを感ずるカフェや、八ツ橋作り体験も楽しめる自然豊かな地域です。園部町の観光地、食、歴史を巡ってみませんか？

事故には十分注意を

サイクルツーリズムを楽しみ思い出にするためには自転車事故や交通トラブルを起こさないことが一番重要です。

- 「**車道の左側を通行してください**」
- 歩道を走行する場合は、歩行者優先で徐行しましょう。
- 「**交差点右折時は2段階右折を**」
- 「**薄暗くなってきたら必ずライトをつけましょう**」
- 「**ブレーキなどの点検は忘れずに行きましょう**」
- ブレーキは左から先にかけ、その後右をかけましょう。
- 「**子どもは必ずヘルメットを着用してください**」

大人もできるだけ着用しましょう。

歴

最初の天満宮「生身天満宮」や最後の城「園部城」など南丹市には「歴史」を感じるスポットが盛りだくさん。南丹市の歴史を肌で感じてみませんか？



「里山サイクリングと自然栽培大豆の味噌仕込み体験」

里山の景色を楽しみながら、ゆっくり走ります。その後、旧摩気小学校にて味噌づくりを体験します。

日時：3月18日(土)

参加費：3,700円

申込：園部文化観光協会

TEL：0771-6210050



京都丹波サイクルルート「走行体験」DAY

京都丹波サイクルルートをサポートガイドと一緒に走りませんか？自転車教室とサイクルルート走行体験をします。

日時：11月26日(土)

申込：京都府南丹広域振興局

メール：n-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

郵送：〒621-0851



▲九品寺

国保を通して考える南丹市の健幸

健幸都市なんたんを目指して

〔国保の状況〕

国民健康保険（国保）は、国民皆保険制度の最後の砦と言われるとおり、市民の健康を守る重要な制度です。病气やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう、加入者が国民健康保険税（国保税）を出し合い、お互いに支えあう制度です。社会構造が変化し、国保の被保険者数は、制度発足時は農林業者や自営業者が多数でしたが、現在では、退職後に国保に加入される方や無職の方が多く、低所得者層や高齢者の割合が高くなっています。

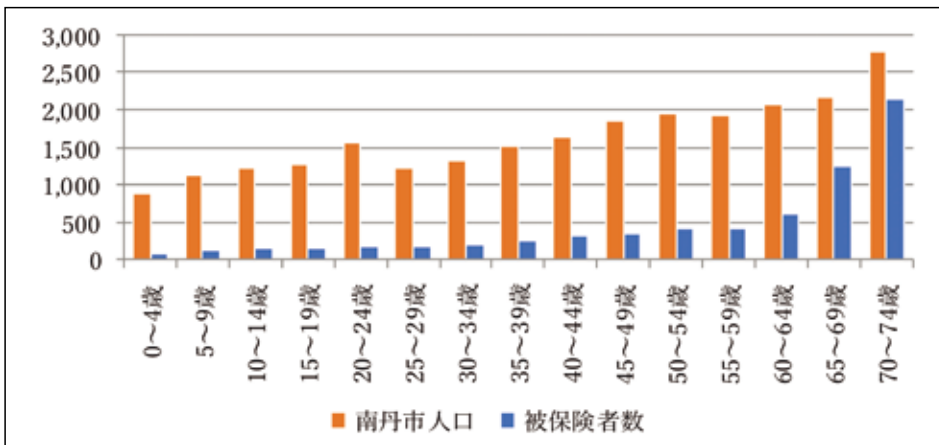
医療の高度化と加入者の高齢化により一人あたりの医療費が年々増え続ける中で、持続可能な保険の仕組みをつくるのが課題となっています。

〔国保の被保険者の減少と高齢化〕

令和4年3月末の被保険者数は、南丹市の人口の22・5パーセントに当たる約6,900人が加入されていますが、被保険者は年々減少しています。

グラフを見ると、南丹市民の年齢区分に占める国保被保険者の割合が確認できます。65歳から国保加入者の割合が急増しているのがわかります。被保険者の年齢構成は、65歳以上の前期高齢者の占める比率が高く、約49・4パーセントを占めており、高齢化が進んでいます。また、65歳から74歳の南丹市民の68・9パーセントは、国保に加入されています。

なお、75歳になると後期高齢者医療制度へ移行します。



〔医療費が増えること〕

医療保険制度は、病気のときやけがをしたときに「保険証」を提示すれば比較的安い自己負担（現役世代は3割負担、高齢者は1割、3割負担）で医療機関（薬局含む）にかかることができる安心の仕組みですが、医療費が増えれば必然的に、「保険税」も上がってしまいます。

年度	国保1人あたりの医療費
平成29年度	383,546円
平成30年度	403,645円
令和元年度	414,441円
令和2年度	402,815円
令和3年度	429,619円

1人あたりの医療費は、医療の高度化や被保険者の高齢化、生活習慣病の増加などの要因によって、コロナ禍で医療控えがあった令和2年度を除き増加しています。
※令和3年度の金額は、見込額です。

【疾病の状況】

入院医療費を疾病別で見ると「統合失調症」や「関節疾患」「骨折」が上位となっています。また、生活習慣病の悪化が要因となる「慢性腎臓病(透析あり)」も上位に上がっています。

外来医療費では、「糖尿病」、「肺がん」、「高血圧症」が上位を占めています。そのうち、生活習慣病である「糖尿病」は、平成29年度から一位となっています。

いずれも、生活習慣病が上位に上がっています。生活習慣病は、多くが自覚症状がないままに進行し、健康な生活を大きく損なう原因となります。日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるため、20歳以上の方を対象に健康診査を行っています。

生活習慣病予防のために、毎年、健診、人間ドックを受けましょう。

※黄色の着色は、生活習慣病です。

年に1回、健診を受けて
体の状態をチェック!

令和3年度 国民健康保険 疾病別医療費

外来医療費

入院医療費

順位	疾病名	費用額(千円)	疾病名	費用額(千円)
1	糖尿病	104,226	統合失調症	66,459
2	肺がん	91,456	関節疾患	58,083
3	高血圧症	85,419	慢性腎臓病(透析あり)	47,191
4	慢性腎臓病(透析あり)	85,091	骨折	44,367
5	関節疾患	77,139	不整脈	25,929

(費用額…保険点数に1点単価10円を乗じたもの)

南丹市では、特定健診(国保加入者の40〜64歳対象)・メタボ予防健診(20歳以上39歳対象)・すこやか健診(後期高齢者対象)・がん検診・人間ドック助成(国保・後期高齢者対象)を実施しています。来年度の申し込みは、令和5年2月頃の予定です。

※人間ドック助成は、年度末までの受診について予算の範囲内で行っています。

- 自分自身の健康を守るために日常からできることがあります。
- 健康的でリズムのある生活を
 - 3食バランスの良い食事を
 - 生活の中で体を動かす習慣を
 - できれば禁煙、お酒は適量に
 - 健診やがん検診は定期的
 - ストレスはためずにうまく解消

【健康で幸せな市民生活のために】

国保の疾病状況・データから見えてくるのは、南丹市の健康課題は、皆さんの生活習慣に起因しているであろうということです。

生活習慣病の多くは、静かに進行していくことが多く、自覚する

ことが困難です。そのため、健診や人間ドックで自分の健康状態を知ることが重要であるとともに、健康を意識し、食生活の改善と適度な運動に取り組むことも大切です。

南丹市では「なんたん健幸都市プロジェクト」により、住民が健やかで幸せに暮らせる地域社会を目指しています。その活動テーマのひとつに「歩いて生活すること」を掲げており、その取り組みとして「なんたん健幸ポイント」事業を実施しています。ウォーキングを毎日継続的にを行い、健康関連のポイントに参加していただくことでポイントをためていただきながら、健康に関する習慣を身に付けていただくプログラムです。手軽に利用できる活動量計を身に付け、スマホアプリを活用しながらすすめることができることから、忙しくされている働きざかりの世代にもご参加いただいております。

今後も市民の誰もが健康で幸せを感じるまちを目指して、いきいきと南丹市で毎日を過ごしていただけるよう健幸を感じていただけるよう取り組みを進めてまいります。

(5) 級別職員の状況(令和4年4月1日現在)

職員数は、市の給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事、一般技能職	31人	8.6%
2級	主事、一般技能職	96人	26.7%
3級	主査、主任	45人	12.5%
4級	係長	64人	17.8%
5級	課長補佐	62人	17.2%
6級	課長、局長、支所担当長、参事	48人	13.3%
7級	部長、会計管理者、次長、教育参事、議会事務局長	14人	3.9%
計		360人	100.0%

※ 職員数は、市長、副市長、教育長及び船井郡衛生管理組合への派遣職員を除いた数です。

(6) 職員手当の状況(令和3年4月1日現在)

区分	南丹市	国																												
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ●配偶者 6,500円 ●子 10,000円 ●父母等 1人につき 6,500円 ●満16歳～満22歳までの子1人につき 5,000円加算 	南丹市と同じ																												
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> ●借家の場合 月額16,000円を超える家賃支払い者に対し、家賃月額により、月額28,000円を限度に支給 	南丹市と同じ																												
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> ●交通機関利用者は、55,000円を限度に全額を支給 ●交通用具利用者は、通勤距離に応じ支給 <table border="1"> <thead> <tr> <th>距離</th> <th>月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2km以上 5km未満</td><td>2,000円</td></tr> <tr><td>5km以上10km未満</td><td>4,200円</td></tr> <tr><td>10km以上15km未満</td><td>7,100円</td></tr> <tr><td>15km以上20km未満</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>20km以上25km未満</td><td>12,900円</td></tr> <tr><td>25km以上30km未満</td><td>15,800円</td></tr> <tr><td>30km以上35km未満</td><td>18,700円</td></tr> <tr><td>35km以上40km未満</td><td>21,600円</td></tr> <tr><td>40km以上45km未満</td><td>24,400円</td></tr> <tr><td>45km以上50km未満</td><td>26,200円</td></tr> <tr><td>50km以上55km未満</td><td>28,000円</td></tr> <tr><td>55km以上60km未満</td><td>29,800円</td></tr> <tr><td>60km以上</td><td>31,600円</td></tr> </tbody> </table>	距離	月額	2km以上 5km未満	2,000円	5km以上10km未満	4,200円	10km以上15km未満	7,100円	15km以上20km未満	10,000円	20km以上25km未満	12,900円	25km以上30km未満	15,800円	30km以上35km未満	18,700円	35km以上40km未満	21,600円	40km以上45km未満	24,400円	45km以上50km未満	26,200円	50km以上55km未満	28,000円	55km以上60km未満	29,800円	60km以上	31,600円	南丹市と同じ
距離	月額																													
2km以上 5km未満	2,000円																													
5km以上10km未満	4,200円																													
10km以上15km未満	7,100円																													
15km以上20km未満	10,000円																													
20km以上25km未満	12,900円																													
25km以上30km未満	15,800円																													
30km以上35km未満	18,700円																													
35km以上40km未満	21,600円																													
40km以上45km未満	24,400円																													
45km以上50km未満	26,200円																													
50km以上55km未満	28,000円																													
55km以上60km未満	29,800円																													
60km以上	31,600円																													
管理職手当	<ul style="list-style-type: none"> ●部長級 給料月額の13.0% ●次長級 給料月額の11.0% ●課長級 給料月額の9.0% 	定額制																												
期末・勤勉手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>1.2月分 (1.0月分)</td> <td>0.95月分 (1.15月分)</td> <td>2.15月分 (2.15月分)</td> </tr> <tr> <td>12月期</td> <td>1.2月分 (1.0月分)</td> <td>0.95月分 (1.15月分)</td> <td>2.15月分 (2.15月分)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.4月分 (2.0月分)</td> <td>1.9月分 (2.3月分)</td> <td>4.3月分 (4.3月分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり ※()内は、管理職員の支給月数です。</p>	区分	期末手当	勤勉手当	合計	6月期	1.2月分 (1.0月分)	0.95月分 (1.15月分)	2.15月分 (2.15月分)	12月期	1.2月分 (1.0月分)	0.95月分 (1.15月分)	2.15月分 (2.15月分)	計	2.4月分 (2.0月分)	1.9月分 (2.3月分)	4.3月分 (4.3月分)	南丹市と同じ												
区分	期末手当	勤勉手当	合計																											
6月期	1.2月分 (1.0月分)	0.95月分 (1.15月分)	2.15月分 (2.15月分)																											
12月期	1.2月分 (1.0月分)	0.95月分 (1.15月分)	2.15月分 (2.15月分)																											
計	2.4月分 (2.0月分)	1.9月分 (2.3月分)	4.3月分 (4.3月分)																											

南丹市職員 給与を公表します

市職員に支給される給与は、国家公務員の給与を参考にしながら、市議会の審議を経て条例や規則によって定められます。

市民の皆さんに、職員の給与などについて理解を深めていただくため、市職員の給与などの実態について令和4年4月1日現在の主な内容を公表します。

(1) 人件費の状況(令和3年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (令和4年3月31日現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率 (B/A)
30,597人	千円 25,668,526	千円 947,044	千円 4,057,714	15.8%

※ 人件費には、特別職(常勤および非常勤)・議員に支給される給料・報酬などを含みます。(事業費支弁人件費を含みます。)普通会計とは、地方財政分析上統一的に用いられる会計区分で、一般会計、市営バス運行事業特別会計などの合計です。

(2) 職員給与費の状況(令和4年度普通会計当初予算)

令和4年度の普通会計当初予算に計上された一般職員の給与費の状況は次のとおりです。

職員数 (A)	給与費				1人当たりの 給与額 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉 手当	計(B)	
329人	千円 1,298,116	千円 319,413	千円 487,376	千円 2,104,905	千円 6,398

※ 職員手当には退職手当は含みません。

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況(令和4年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	42.6歳	315,908円	413,442円
技能労務職	54.5歳	303,750円	324,400円

※ 「平均給料月額」とは、令和4年4月1日現在における基本給の平均です。

「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、通勤手当、住居手当など諸手当の額を合計したものです。

(4) 一般行政職職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

学校卒業後、ただちに採用された職員の初任給と、その後引き続き2年間勤務したときの給料月額は、次のとおりです。

区分	南丹市		国	
	初任給	2年目経過日	初任給	2年目経過日
大学卒	182,200円	193,900円	182,200円	193,900円
高校卒	150,600円	158,900円	150,600円	158,900円

(8) 職員数の状況(令和4年4月1日現在)

1. 部門別職員数の状況

区 分 部 門	職 員 数		対前年 増減数	
	令和3年度 (令和3年4月1日現在)	令和4年度 (令和4年4月1日現在)		
一 般 行 政 部 門	議 会	4	4	
	総 務	98	94	△4
	税 務	15	15	
	民 生	89	89	
	衛 生	24	25	1
	農林水産	21	20	△1
	商 工	9	9	
	土 木	32	29	△3
小 計	292	285	△7	
政 特 別 行 部 門	教 育	37	35	△2
	消 防	-	-	
小 計	37	35	△2	
公 営 企 業 等 部 門	病 院	9	9	
	上 水 道	10	11	1
	下 水 道	9	8	△1
	そ の 他	13	12	△1
小 計	41	40	△1	
合 計	370(397)	360(397)	△10	

※ 職員数は、地方公共団体定員管理調査に基づく職員数です。
[] 内は、条例定数の合計です。

2. 年齢別職員構成の状況

区 分	職 員 数 (人)			構 成 比 (%)
	男	女		
20歳未満	0	0	0	0.0
20歳～23歳	18	2	16	5.0
24歳～27歳	30	15	15	8.3
28歳～31歳	32	11	21	8.9
32歳～35歳	40	25	15	11.1
36歳～39歳	17	7	10	4.7
40歳～43歳	27	19	8	7.5
44歳～47歳	54	30	24	15.0
48歳～51歳	70	39	31	19.5
52歳～55歳	38	19	19	10.6
56歳～	34	19	15	9.4
合 計	360	186	174	100.0

(9) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

南丹市では、令和4年4月に第4次「南丹市職員定員適正化計画」を策定しました。これまでから非常に厳しい財政状況の中、市民協働の推進や民間活力の活用など行政のスリム化を進めてきました。今後も、さらなる職員の資質向上、効率的な組織体制の構築を目指し、真に必要な職員数を確保しつつ、また、定年延長制度の導入を考慮しながら、定員の適正化を進めていきます。

1. 定員適正化目標(数・率)

計画期間		数値目標
始 期	終 期	
令和4年4月1日	令和9年4月1日	令和4年4月に360人であった職員総数を、令和9年度末までに「0.8%」にあたる「3人」を削減する。

2. 各年4月1日現在における定員の数値目標と総職員数 (上段:目標値、下段:職員数)※職員数には派遣職員を含みます。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
360人	360人	360人	359人	359人	357人
360人					

退 職 手 当		自己都合	応募認定退職・定年退職
	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
	勤続35年	39.7575月分	47.7090月分
	最高限度額	47.7090月分	47.7090月分
・定年前早期退職特例措置あり(2%～30%加算)			

※ 退職手当については、京都市府市町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。

特 殊 勤 務 手 当	区 分	全職種
	特殊勤務手当予算額	775千円
	職員全体に占める手当支給対象職員の割合	5.0%
	給料総額に対する比率	0.06%
	手当の種類(手当数)	2種類
代表的な手当の名称	伝染病防疫等作業手当・汚物処理作業手当	

※ 令和4年度の普通会計当初予算に計上された一般職員に係る特殊勤務手当の状況です。

(参考) ラスパイレス指数の状況(令和3年4月1日現在)

国	京都府	京都市	南丹市	その他
100.0	99.5	101.0	95.5	府内市平均 99.0 (京都市除く)
				府内市町村平均 98.1 (京都市除く)
				全国市平均 98.8

※ ラスパイレス指数とは、国家公務員の平均給与額を100.0として算定した時の地方公務員の平均給与額の指数です。

(7) 特別職の報酬などの状況(令和4年4月1日現在)

区 分	報酬等月額	期末手当支給割合
市 長	736,000円	6月期1.625月分 12月期1.625月分 計 3.25月分 (加算措置あり)
副 市 長	647,800円	
教 育 長	579,200円	
議 長	470,000円	
副 議 長	415,000円	
常 任 委 員 長	390,000円	
議会運営委員長	390,000円	
議 員	380,000円	

退 職 手 当	区 分	算定方式	支給時期
	市 長	給料月額×任期1年につき530/100	任期毎に支給
	副市長	給料月額×任期1年につき315/100	任期毎に支給
	教育長	給料月額×任期1年につき270/100	任期毎に支給

※ 退職手当については、京都市府市町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。

10月15日、八木町大堰橋周辺で「ありがとう！感謝の集い～あの日のことは忘れない～」が開催されました。これは昭和35年台風16号により、町民および救助支援活動中であつた自衛隊員3名の尊い命が奪われたことを後世に伝え、安心安全でみんなで支え合う住みよい地域づくりを目的に開催されたものです。

当日は、殉難碑に献花し黙とうを捧げた後、水害の体験談や当時の自衛隊員の体験談をとおして、水害の危険性や万が一の時の行動について学びました。また、八木中吹奏楽部の演奏も行われました。



▲体験談を聞く参加者ら

「過去を偲び、未来の安心安全へ繋ぐ」

（10/15）ありがとう！感謝の集い～あの日のことは忘れない～



▲参加者全員で記念撮影

10月10日、南丹市内の文化・歴史施設を歩いて巡る「そのべまちなか さわやかウォーキング」があり26人が参加しました。ウォーキングは、園部高校前から井筒八ツ橋本舗新光悦までの往復6kmの道のりで、道中にある文化博物館や垣内古墳跡に立ち寄りしました。

ウォーキングの途中からは、南丹市文化観光大使の道端カレンさんが飛び入り参加し、参加者と交流しました。

また、参加者の皆さんに、健康増進に関する包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社さんや、井筒八ツ橋さんと株式会社虎屋京都工場さんから水分補給用の飲料やお土産をいただきました。



▲ウォーキングの様子

「道端カレンさんもウォーキング参加」

（10/10）そのべまちなか さわやかウォーキング

「地域おこしの活動を振り返る」



▲活動報告を行う吉田隊員

（9/25）南丹市地域おこし協力隊活動報告会

9月25日、南丹市日吉生涯学習センターで南丹市地域おこし協力隊の活動報告会が開催されました。

今回、5期生の吉田隊員、7期生の鈴木隊員および谷川隊員が自身が行ってきた活動の報告とともにこれからの展望を話されました。

また、報告会では9月1日に新たに委嘱を受けた2名の隊員の自己紹介も行われました。



▲京みず菜の袋詰め作業を体験する学生

10月17日に八木町神吉で京都中部総合医療センター看護専門学校による農業体験が行われました。これは専門学校のカリキュラムとして取り組まれている事業で、看護基礎教育における地域住民と連携した教育事例にも取り上げられました。

当日は専門学生の2年生37名が地元生産者の協力のもと、ビニールハウス内で京みず菜の収穫や袋詰め作業を体験しました。また、京野菜の弁当でも一緒にとり、地域の暮らしぶりや農業に関する質問をするなど、生産者さんとの親睦を深める時間もありました。

10/17 京都中部総合医療センター看護専門学校による農業体験

「農業から地域の暮らしぶりを学ぶ」

「市内介護サービスの向上に期待」

10月3日、市役所で介護相談員の委嘱状の交付式を行いました。

介護相談員は、市内の介護保険施設などを訪問し、利用者の皆さんからお話をお聞きすることで、悩みや不安を解消し、事業所のサービスの質的向上を図ることを目的に活動いただいています。

今回、1名が新規に委嘱を受け、4名が再委嘱されました。これから2年間、介護相談員として活動をいただく予定です。



▲西村市長と委嘱を受けた介護相談員ら

10/3 介護相談員の委嘱状交付式

「消防団の質的向上を目指して」



▲放水訓練を行う新入団員ら

10月8日、園部町で学生新入消防団員等教育訓練が実施されました。

新入消防団員として必要な基礎的知識・技術および規律について習得し、消防団員としての資質の向上を図ることを目的とし実施され、約20名の新入団員が訓練に参加しました。

当日は消防職員による講義から始まり、ホースなどの取扱訓練も行われました。

10/8 学生新入消防団員等教育訓練

「人との関わりを大切に」

9/3 人権講演会「助けてといえるまち〜ひとりになんていって支援〜」

9月3日、アスエルそのべでNPO法人抱樸(ほうぼく)理事長 奥田知志さんに講演いただきました。

3,500人以上のホームレスの自立支援に携わってきた経験をもとに、他人との関わりを『わずらわしい』と感じる風潮が強いなか、「人と人がふれあうことで初めて自分のことが分かり、他人の痛みが分かるようになる。傷つくことを恐れず、人との関わりを大切にしてほしい。そこに人生の喜びがある」と話されました。



▲講演を行う奥田理事長

サンガホームタウンデー

9月3日、京都サンガF.C. 対ヴィッセル神戸戦がサンガスタジアム by KYOCERAで開催されました。この日は、南丹市ホームタウンデーとして、スタジアム横では、市内の特産品を販売するブースが出展され大盛況だったほか、園部高校吹奏楽部による演奏や交通安全協会のPR、スポーツ少年団によるピッチ内行進で盛り上がりました。

J1残留に向け行われた試合は、公式戦で過去最多となる約1万8千人の大観衆の後押しを受け2対0で勝利しました。



©KYOTO.P.S.

右上：チームを応援するサポーターの様子

右下：園部高校吹奏楽部による演奏の様子

左下：南丹市出展ブースの様子



©KYOTO.P.S.

カレンさん一日警察署長に



タレント・モデルとして活躍され、南丹市文化観光大使に就任いただいている道端カレンさんが、10月11日に南丹警察署の一日署長を務めました。

11日の朝に吉田署長から委嘱を受けた道端さんは、署員の服装点検などを行い、その後、園部町内の民家や商店を訪問されました。訪問では、特殊詐欺への啓発活動を行い、注意を促すチラシを配りました。

また、署内で講演を行い、自身のこれまでの経験を話されるなど、署員との交流の場もありました。



▲署員の服装点検を行う道端カレンさん

地域おこし協力隊レポート



-24-

こんにちは。南丹市地域おこし協力隊五期生の吉田です。今回は令和四年九月から新たに協力隊に仲間入りした二人の新任隊員を紹介したいと思います。

まず一人目は永尾俊晴さん。現在二十六歳の若者です。大学卒業後、中小企業向けコンサルティング会社で、食品・菓子業界のマーケティングを専門に、商品企画・店舗開発を行っていました。日本中を東奔西走していたそうですよ。

今後は、前職の経験を生かして、特産品や観光資源など、地域資源の付加価値向上をテーマに活動し、地元素材を活用した商品を取り扱うセレクトショップを立ち上げたいとのこと。

ちなみに永尾さんは私の高校時代からの友人でもあり、私のミッションとも連携しながら特産品を開発できれば面白いですね。

二人目は米澤弥央さん。二十二歳で、南丹市地域おこし協力隊の歴史の中でも最年少の就任ではないでしょうか。私もまだまだ若いつもりでしたが、彼女のアグレッシブさには頭が下がる思いです。

大学時代にサークル活動で国際

協力系の企画運営をしており、持続可能な社会などについて考える機会が多かったそうです。サークル活動引退後、自分の将来やりたいこととリンクしたことをしたいと考え、知り合いの有機農家さんの野菜を使ったカフェ営業、マルシェの開催、農家と飲食店とをつなぐネットワーキングづくりなどを行ってきました。

その経験を生かしながら、南丹市の野菜の生産状況、販路などをまず知り、課題点などを農家さんと一緒に探していけたらとのこと。

一緒に仕事するなかで、私の知らない切り口やものの考え方で、あっと驚かされるときが多々あります。

二人とも若く、非常にバイタリティのある人材です。

二人の活動がどのように地域づくりにつながるのか、とても楽しみですね！



▲永尾隊員(左)、米澤隊員(右)

なんたんの景観ちょっと情報



【稲穂と景観】

緑一色だった水田は、あっという間に黄金色へ姿を変え、出来秋をむかえました。稲が栄養分の溜め込みを完了すると、稲穂は秋の日差しを浴びて黄金色に輝きます。稲にはプラント・オパールというガラス質細胞が存在し、それが日の光を受けることで光り輝くといわれています。秋風に吹かれて稲穂がなびく様子は、この時期だけの絶景です。

今回は山々に囲まれた南丹市の美しい田園風景を紹介します。

景観の小窓



第46景



(園部町)



(八木町)



(日吉町)



(美山町)

問い合わせ先
地域振興課
Tel (0771) 68-0019
美山支所総務課
Tel (0771) 68-0040



※景観条例(計画)の詳細は市HPに掲載しています。

南丹市では「景観条例」を制定しており、計画区域内での建築物や工作物の新築・移転、屋根や外壁の塗替え、土地の形質変更や土石等の堆積などを行う場合には、行為の着工30日前までに市への届出が必要です。

市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方々と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

景観計画区域・美山町地域

届出対象行為は、**工事着工の30日前までに市へ届け出ください**

みんなで描こう

協働のキャンバス 66

地域のさらなる活性化を目指して！

日吉町後野区 花いっぱい 後野区から安心安全の後野区へ

日吉町胡麻地区の北東部に位置する後野(この)区は、高度経済成長期に大規模開発され、約800戸の造成がされました。しかし、宅地開発が途中で止まり、住んでいた方も次々と転出され、現在は25世帯、人口46人、高齢化率67%を超える限界集落になりました。区民の中から現状を打破しようと少しずつ声があがり、令和元年度から集落支援事業に取り組みました。

令和元年度に行った地域再生計画の策定では、課題として不便な交通や空き地の問題、知名度の低さや集会所の未整備問題などがありました。同時に地域の良さとして、定期的に開催しているサロンや植物が育ちやすい土壌、住民同志の仲の良さなどがあがり、住民自身が楽しく暮らせる地域を作ろうと活発な議論を展開することができました。



▲集落を広く知ってもらうための看板

令和2年度には「後野きぼうプロジェクト」と題して、「後野区」を広く知ってもらうための看板を設置しました。集落の入口に設置したことにより、「地名がよく見えて最高」など、思いのほか良い反響が返ってきました。

また、植物が育ちやすい土壌を生かし、鳥獣害の被害を受けにくい花を選定し、プランターを設置しました。その結果、作業に携わった区民からも「ええ子で咲いているお利口な花ばかり。」と癒しの声が出てくるまでになりました。

「地域活性化活動の紹介」日吉地域編

令和3年度には、「後野きぼうプロジェクト」と題し、前年からの花の寄せ植えを拡充するとともに集会所の敷地の整備に取り組みました。年末には各世帯に寄せ植えした鉢を配り、住民からも驚きと喜びの声が聞かれました。そして、寄せ植え作業の様子や新聞に掲載された記事を集め、地域独自のカレンダーの製作にも取り組みました。



▲花いっぱいカレンダー

最終年度の今年度は、次世代に残す「地域安全マップ」の製作に取り組んでいます。地域住民も初めての取組みのため、まずは「まち歩き」から始めました。歩くことを繰り返して、気づいたことを地図に落とし込む作業を反復しました。この作業のなか、集落内の空き家の状況や道路状況、住民のほとんど



▲後野地域安全マップ

が知らなかった自然環境の変化や問題点を改めて確認することができました。

今後は、安心安全で住みやすい後野区の未来を目指し、目の前の課題を一つひとつ丁寧に解決していけるよう住民同士が情報を共有していくとともに定期的に開催しているサロンを検討の場としていきます。

また、集落支援事業の一つのきっかけとして、住環境や自然環境の整備を進めていき、「花いっぴいの後野」から「安心安全の後野」へ成長していくことを目標に活動していきます。

地域でお手伝いできることがあれば、ぜひお声かけください。

問い合わせ先 集落支援員室
TEL(0771)68-0108

南丹市観光協会連絡会だより

アウトドアデিজパン大阪 2022で観光PR

9月24日・25日に、大阪市鶴見区の花博記念公園鶴見緑地で、「アウトドアデিজパン大阪2022」が開催されました。

アウトドアデিজパンは最新のキャンプ用品やアウトドアグッズ、アウトドア施設の情報が集まる国内最大級のイベントで、会場で楽しめるアウトドア体験も充実していました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、風通しの良い屋外で非日常が楽しめるアウトドア人気が高まる中、秋晴れの鶴見緑地には、親子連れが多く訪れ、様々なアウトドア体験や展示を楽しんでいました。

南丹市コーナーではアウトドア施設や、市内で楽しめるアウトドア体験のPRを行いました。日吉町観光協会の中川会長の手ほどきにより、ガソリンランタンに火を灯す「ランタン点灯体験」と、安全に薪を割ることができるキンドリ



▶家族でかんたん薪割り体験



▶ランタン点灯体験

ングクラッカーを使った「かんたん薪割り体験」を実施。2日間で開催には60人、かんたん薪割り体験には250人に参加していただきました。

参加者からは、「色々な楽しみ方を知った。近々南丹市へ行って、アウトドアを楽しみたい。」との声を聞かせていただくなど、大盛況のうちにイベントを終えることができました。

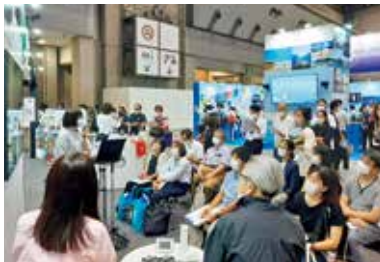
ツーリズムEXPOジャパン 2022で旅の魅力アピール

東京ビッグサイトで2年ぶり8回目となる「ツーリズムEXPOジャパン2022」が、日本観光振興協会他の主催により、9月22日、23日を業界日、24日、25日を一般日として4日間開催されました。

期間中、世界中の千を超える企業、団体が出展や商談をし、一般消費者へのアピールも行い、12万2千人が会場へ訪れました。

京都出展ブースの森の京都エリアとして南丹市が、農泊ブースとして美山DMOが参加し商談を行いました。久しぶりの開催ということで、旅行会社の担当者も、新しい観光の目的地や、ツアーに組み込む企画を強く求めておられ、熱気を帯びた商談会になり、南丹市の旅の魅力アピールすることができました。

▼農泊ブースでの商談
写真提供：美山DMO



南丹市 インスタグラム フォトコンテスト

2022年7月・8月 優秀賞発表
テーマ「私が好きなこの一瞬」



作品名：「藍にとけゆく」
撮影場所：(日吉町)日吉ダム
撮影者：saketotabi_photo



作品名：「双龍淵」
撮影場所：(園部町)るり溪
撮影者：saya_o9o3



作品名：「大堰川の瀑布」
撮影場所：(八木町)大堰川
撮影者：hyt08151215



▲南丹市フォトコンテスト
テーマ「この瞬間を伝えたい」への応募もお待ちしております。

食は、

ひびく、まじり、まじり



-56-

芽生えた命にやさしい食を

〜妊娠を機に食生活を見直しましよう〜

南丹市では、妊婦さんとその家族を対象に、妊娠・出産・子育て・食生活・歯科について学び、妊娠をきっかけに生活習慣を見直す機会となるよう「パパママ教室」を実施しています。



▶パパがマタニティジャケット体験

▼赤ちゃんのだっこのしかた交流会



教室でお伝えしている「塩分のとり過ぎに気を付けよう」「バランスよく食事をとろう」の2つのポイントをご紹介します。

塩分のとり過ぎに気を付けよう

塩分のとり過ぎは、「高血圧」む

くみ「冷え」の原因になり、「妊娠高血圧症候群」のリスクにつながります。

教室では、尿中ナトリウムカリウム測定を実施し、ナトリウム(塩分)をとり過ぎていないか、とり過ぎたナトリウムを体の外に排泄するカリウムが不足していないかをチェックしています。「前回数値が高かったのかな」「頑張ったので、ドキドキする。」などの声があり、家庭で減塩やカリウムを多く含む食品の摂取に取り組まれた様子が伺えました。

【参加者の目標】



バランスよく食事をとろう

バランスのよい食事は体の調子を整えるため、おなかの赤ちゃんの健やかな成長のために大切です。また、妊娠によるからだの変化により、便秘や貧血などが起こりやすく、予防のためにも大切です。

簡単栄養バランスチェック

当てはまるものにチェックを入れてみましょう！

- 1日3食食べている
- 毎食、主食(ごはん、パン、麺など)を食べている
- 毎食、副菜(野菜、きのこ、いも、海藻がメインのおかず)を食べている
- 毎食、主菜(魚、肉、卵、大豆製品がメインのおかず)を食べている
- 毎日、牛乳・乳製品をとっている
- 毎日、果物を食べている

〜チェックのつかなかった項目について、食習慣を見直してみましよう〜

教室では、食事バランスガイドを使って、夫婦それぞれの1日の食事の振り返りをします。「副菜が少なかったので野菜を食べるようにしたい」「乳製品や果物をとる習慣がなかったことに気付いた。」などの感想が聞かれました。



▲食事バランスガイド

パパママ教室と一緒に食生活の見直しをしてみませんか。忙しく日々を過ごされている中で、自身の健康について考える機会は少ないと思います。妊娠をきっかけに、正しい食習慣を身につけて健康なマタニティライフを送りましょう。また、家族ぐるみで取り組み、健康の輪を広げていきましょう。

▶パパママ教室の詳細はこちら



問い合わせ先

南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)

TEL (0771) 68-0016

いきいき南丹

お元気ですか？
保健師です。



**十一月十三日(日)～十九日(土)の一週間は、
全国糖尿病週間となっています。**

平成28年度「国民健康・栄養調査」では、糖尿病が強く疑われる者(糖尿病有病者)、糖尿病の可能性を否定できない者(糖尿病予備軍)はいずれも約1,000万人(合わせて約2,000万人)と推計されています。

南丹市の令和4年4・5月に実施した集団の特定健康診査(南丹市国民健康保険加入者が対象)の受診者は、1,508人でした。その中で、糖尿病要医療者(56人)と治療中(92人)が、合わせて148人いました。他、医療機関での経過観察者が24人で、1割強の方が、糖尿病と深いかわりを持っていないことがわかります。

糖尿病有病者は年齢が高いほど高い割合となる傾向にあり、ここ20年間では増加傾向にあります。

【糖尿病ってどんな病気?】

糖尿病は、「インスリン」というホルモンの量が不足したり、働きが悪くなることで、血液中のブドウ糖(血糖)が多くなり過ぎた状態(高血糖)が長く続く病気です。

【インスリンとは?】

血糖が正常でいられるように調整する、膵臓から分泌されるホルモンです。体の中で、血糖を下げることでできるのは、「インスリン」ただ一つです。

「インスリン」は血管から細胞へ糖を運んで、血管の中の糖の値を下げてくれます。

しかし、何らかの問題で、「インスリン」が不足したり、働きが悪くなることで、血糖が正常に保てなくなり、つまり、血糖を正常に保つためには、この「インスリン」がとても重要なのです。

高血糖の方は、一時的に本来の

実力よりも、インスリンが血糖を下げにくい体になっていることがあります。

【忍び寄る合併症に気を付けて】

長期間、高血糖状態が続くと、血管がもろくなり、それが原因で様々な合併症が発症します。合併症は、大きく2つに分かれます。

細い血管が障害されるものと、太い血管が障害されるものです。糖尿病は、合併症の発症や進行を遅らせることがとても大切です。

高血糖状態は、合併症を発症、進行させてしまふので、血糖値を良い状態に保つ必要があります。



★血糖値を良い状態に保つには、3つの治療法が基本です★
血糖値を良い状態に保つためには、3つの治療法があります。

うまく治療法を生活に取り入れることが大切です。



南丹市では、市内医師会のご理解とご協力を得て、糖尿病重症化予防の事業を実施しています。

全国糖尿病週間を通じて、自分の生活習慣を見直してください。

※糖尿病情報センターの資料を引用しています。

問い合わせ先 南丹市保健医療課
TEL (0771) 68-0016

「ふるさとを愛し、つながり、 展望し、挑戦できる子へ」

本

本校は人権教育を基盤として教育活動を進めています。今年度から、殿田中学校ブロック全体で地域道徳に取り組んでいます。地域道徳とは、地域の方々と家族と共に考え、共に実践する学習活動を通して子どもだけではなく、地域や家庭の方々の心も共に豊かにしていく取組です。

殿

田中学校ブロックでは「環境」「つながり」をテーマに取組を進めています。そこで、殿田小学校は「生活」「自然」「文化」という三つの柱を設定しました。

生

活では、四・五年生が誰もが住みやすい町づくりについて学んでいます。小さい子どもや高齢者、障害のある方など誰にとっても優しい工夫があることを知りました。自分にできる身近なことを考え、周りの人と助け合う姿勢を育むことができました。

自

然では、六年生が環境問題について学んでいます。地域の方と一緒にゴミ拾いを実施し、日吉の現状を知りました。また、地域の方々と保護者の皆様とマイククプラスチックゴミを題材にした映画を鑑賞し、映画の感想を交流するなど、日吉の豊かな自然を大切にしようと

文

化する心を育むことができました。文化では、三年生が日吉ゆかりの伝統芸能である能をテーマに学習を進めています。梅若家能楽鑑賞会では鑑賞や能で使用する楽器の説明や体験を通して、伝統芸能に触れることができました。また京都梅若会の能楽師を講師として招き、能の舞や謡を学び表現することで、文化に慣れ親しみ、文化を大切にすることを育むことができました。

環

境をテーマにはしていますが、最も身近で大きな環境は人であると考えています。本校の取組は地域の方々の協力的な活動は成立しません。これからも地域の方々から教わり、共に考え、伝え合い、実践することを通して、豊かな心を育んでいきます。そして、人と繋がることの尊さを実感し、相手を理解し、受け入れ、繋がろうとする子どもを育てていきたいと思っています。



①能楽鑑賞会
②6年生、川清掃

南丹市立殿田小学校

人権教育主任

橋本

宙志

ふ・れ・あ・い



—第57回—

「#7119」

新型コロナウイルス感染症流行「第7波」で、医療等の現場はひっ迫しました。京都市内の総合病院では、一日に7、8件のコロナ患者の受け入れ依頼に加え、救急車での搬送依頼が30件を超えたこともあったそうです。

このような状況に医師、看護師、救急救命士をはじめ医療現場の皆様には心身を酷使して対応していただいています。一方、周囲からの誤解や偏見による心ない誹謗中傷や差別に遭う事態も発生し、ストレスや極度の疲労でメンタルヘルスに不調をきたす方も多く聞きます。最前線で活躍する方々を守るためにも私たちにできることはないでしょうか。

救急搬送の件数が昨年の1.5倍になった病院では、救急車

「適正利用」を心がけてほしいと訴えています。

「救急車を呼んだほうがいいのかな」など迷ったことはありませんか。そんなとき、24時間電話で相談できるのが「救急安心センターきょうと」『#7119』です。京都府が実施している電話相談事業で、病气やけがの症状から緊急性や医療機関の受診、応急手当の方法などについて助言を受けられます。携帯電話・スマートフォンからは短縮ダイヤル「#7119」、ダイヤル回線などからは「0570-00-7119」へ掛けます。相談料は不要ですが、通話料は相談者の負担となります。

大阪府では、全相談件数の内、緊急性があり救急に転送されたのは3%で、必要のない119を防ぐという点で、現場の負担を減らすことができている。

しかし、「呼吸をしていない」「脈がない」「大量に出血している」などの場合や、ご自身が緊急と思ったときは、ためらわず119番で救急車を呼んでください。

(人権政策課)

中央図書館 TEL(0771)68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/nantan/>

図書館へようこそ!

No.97



イメージキャラクター「なびっと」

読書の秋に、雑誌はいかガバですか?

「図書館で気軽に読み比べしてみませんか」

南丹市立図書館では、82タイトルの雑誌を所蔵しています。読書の秋にじっくり読む本だけでなく、気軽に読める雑誌はいかがですか? 一番人気があるのは「天然生活」、「クワッサン」などのくらしの雑誌ですが、その他にも園芸、料理、ファッション、文芸、旅行、健康・子育て情報など様々なジャンルの雑誌があります。最新号は所蔵している図書館内での閲覧に限りませんが、バックナンバーは貸出可能です。取寄せや最新号への予約もできます。もし南丹市に所蔵が無くても、他の図書館から借り受けることもできますので、お気軽にお尋ねください。買い逃したバックナンバーも見つけられるかもしれません。

新刊紹介



『平野レミのオールスターレシピ 家族の絆はごはんを深まる』

著者:平野レミ/発行:主婦の友社



レミさんの愛情と楽しいアイデアがたっぷり詰まったレシピ本です。パパッと作れて家族に喜ばれたら文句なし! レミさんがコレクションしているお皿に盛りつけられた料理の写真も魅力的です。

『トイレのなか、みせてみせて!』

文・絵:ヒド・ファン・ヘネヒテン 訳:松永りえ



ねずみくんはお友達のこと気がなつて、トイレの中を見せてもらいます。みんなのうんちはどんなのかな? 前作「おむつのなか、みせてみせて!」もあわせてどうぞ。

暮らしとホッと

—第82回—
消費生活情報

ネット注文「特別割引クーポン」利用に注意!

(独)国民生活センター
発表資料より

事例 スマートフォンで、「定期縛りなし」「初回、2,000円」という美容液の定期コースを注文した。初回の商品が届いたので解約したいと伝えたら、「特別割引クーポンを利用してコースを変更しているため、4回で4万円分の商品を購入する必要がある」と言われた。注文完了画面に割引クーポンが表示され利用した記憶はあるが、納付できない。
(相談者:40歳代女性)



割引クーポンを利用したら、定期購入コースに替わっていた!

●「定期縛りなし」の広告を見て、2回目から解約しようとしたら「特別割引クーポン」を利用する「ボタンを押したので、4回購入が条件の定期コースに替わり1回のみ購入では解約できず、

高額な商品代金を求められたという相談が増加しています。

ひょうご助言

●注文完了画面で「特別割引クーポン」や「おまとめコース」の利用を勧められても、購入回数条件が変更されないか、2回目以降の分量や代金、解約の手続き方法など、販売条件を必ず確認しましょう。

●「注文を確定」画面をしっかりと確認し、スクリーンショットを残しておきましょう。

●ネットなど通販は、クーリング・オフはできません。

一人で悩まずご相談ください

●人を誤認させる表示により消費者が注文した場合は、契約を取り消せる可能性があります。

お気軽にご相談ください

消費者ホットライン
Tel 188(いややー)
南丹市消費生活相談窓口
Tel(0771)68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時〜午後4時
京丹波町消費生活相談窓口
Tel(0771)82-3803
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分〜午後4時

(商工課)

堰水好日 えんすいこうじつ

コラム こうりゅう

園部公園はモミジやサクラ、クスノキ、カイズカイブキなどが鬱蒼と繁り、木々の香りが溢れている。庁舎への出退勤で毎朝夕公園を横切る。通路には城郭を構成した堀や塀、屋敷遺構などの形跡はない。しかし、ここを歩くと、不思議とかつての城址の姿を空想する。

明治30年・39年の2度にわたる国有地の公園地編入により園部公園は設置、拡張整備された。明治32年「京鶴鉄道」園部・京都間開通に伴う旅客の誘致手段として園部城址の公園化は地域活性化の目玉事業であった。

その後時々の要請によって公園及びその周辺は姿形を変えてきた。現在の公園駐車場一帯は大正期に整備されたグラウンド跡であった。昭和39年には水泳プールや幼稚園、昭和50年以降B&G海洋センター、多目的運動場整備、小麦山の三重櫓をイメージした国際交流会館や博物館・図書館、女性の館設置など多種多様である。

さて、市街地中心部にある園部公園は周辺地域の市民活動の場、憩いの場であり、歴史や文化を生かした地域づくりと地域の活性化の役割を担う。とりわけ少子高齢化のなかで

は健康づくりや子育て環境づくりも大切なテーマ。そこで市では昨年度から園部公園の再整備の検討を始めている。

既に様々な期待が寄せられている。子どもたちの遊び場づくりの一環として大型遊具の設置や小麦山の遊歩道の充実、かつて園部城の砲台や見張り場もあった山頂の展望広場化などである。さらには城址公園として城郭や近代の公園整備内容等の解説を掲示との声も。案内にはスマートフォンによるQRコード活用も効果的と聞く。今後財源をどう確保するかが最大の課題であるが、近隣だけでなく広域的に利用される整備をめざしたい。

ところで、昭和世代には体験型公園は身近にあった。というより近隣の山や河川、水路、田んぼなどすべてが公園であり遊び場であった。いつからか子どもたちは野山を走り回らなくなった。この公園を取り戻そうと、日吉中世木では空き地に丸太で作った遊具を置き、林の中に「森の遊び場」をつくり、沢や小川で川遊びを復活させる取り組みが行われている。こんな地域の住民による地域の公園づくりも、子ども達のすぐ身近で広がってほしい。

南丹市長 西村 良平



▲庭のキンミズヒキ

編集後記

今回の特集の取材にあたり、約50kmの道のりを自転車ですり破ることにになりました。運動不足の自分にとっては本当に走りきれぬのか不安でしたが、Eバイクに助けてもらい、なんとか走りきることができました。

最近運動不足だなと感じる方は多いのではないのでしょうか。スポーツの秋がやってきます。皆さんも体を動かし、健康な身体を目指しましょう。

(M)



●総人口：30,607人(-16)
(男：14,916人・女：15,691人)
(-16) (0)
●世帯数：14,404世帯(-4)
(令和4年10月1日現在)
()内は前月比



市の花 さくら



市の木 ふな



市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと

南丹市 なんたんし

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。